

講義名: 経済開発論 I <春> 曜日1: 月1 担当教員名: 望月 和彦	ナンバリングコード: ECON2530 曜日2:
---	-----------------------------

研究室: 聖アンデレ館10階1023号室	オフィスアワー: 木曜日5限	メールアドレス: mochan@andrew.ac.jp
----------------------	----------------	------------------------------

授業形態  
『講義』

講義・演習概要  
現在の開発途上国はかつて「後進国」と呼ばれていた。これは先進国に対比する呼び名であったわけだが、失礼な名称であることから開発途上国と呼ばれるようになった。30～40年前は開発途上国とは言いながらほとんど発展していないような国がたくさんあった。ところが今日、経済発展は多くの国で見られるようになっており、開発途上諸国はまさに開発途上にある。本講では経済発展の要因、経済発展の現状、経済発展の将来について考える。

学習(到達)目標  
本学の教育の目標である「世界の市民の養成」に則り、経済発展の事例を広く探究することを通して世界の市民にふさわしい知識と判断力を涵養する。

講義・演習計画	
【第1回】 導入 本講の基本的な考え方 科学的思考とは何か	
【第2回】 経済発展とは	
【第3回】 経済発展の要因 その1 お金	
【第4回】 経済発展の要因 その2 資源	
【第5回】 経済発展の要因 その3 資本・技術	
【第6回】 経済発展の要因 その4 制度 社会主義	
【第7回】 経済発展の要因 その5 制度 資本主義	
【第8回】 経済発展の要因 その6 制度 政治体制	
【第9回】 経済発展の要因 その7 思想	
【第10回】 経済発展の要因 その8 所有権・法の支配	
【第11回】 経済発展の要因 その9 金融制度	
【第12回】 経済発展の要因 その10 企業組織	
【第13回】 経済発展の要因 その11 社会秩序	
【第14回】 経済発展の要因 その12 社会秩序の形成因	
【第15回】 まとめ	

成績評価の方法					
試験	0%	レポート	0%	その他	100%
コメント	学期中に3回実施する小テスト兼課題によって成績を評価する。課題は授業の内容を理解しているかどうかを問うものである。課題の配点は3回とも同じ。				

テキスト			
著書	望月和彦	タイトル	テキスト経済開発論 I (仮題)
ISBN		出版社	kindle版(出版予定)
教科書購入区分	選択なし	備考	3月頃に出版予定
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間 ・事後学習 30 時間)  
 事前学習: テキストおよび講義資料を使っての予習  
 事後学習: 講義要約を使っての復習、課題の完成

その他備考(担当教員用)

キーワード

備考(管理者用)  
(旧: 経済開発論)02～10E・CBCG生読替